

ICOM

ご使用になる前に

作業連絡用無線設備 親機

IC-MS5880 WITHCALL PRO

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、注意事項と基本的な取り扱い、別紙の「接続ガイド」では接続や設置について記載しています。
本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート情報→法人のお客様(または、個人のお客様)→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。

アイコム株式会社 サポート情報
https://www.icom.co.jp/support/



アイコム、ICOM、ICOMロゴ、WITHCALL PROロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 A7762W-1J Printed in Japan
202311 © 2023 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

- 保証期間中は**
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間後は**
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- 保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたします
ので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 弊社製品の技術的なお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)
電子メール: support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ: https://www.icom.co.jp/

安全上のご注意

- ◎ 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 無線機本体

△危険

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

△警告

- ◎ 病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- ◎ **マイクロホン(別売品)のケーブルを持って、マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください。**
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。
- ◎ **DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。**
ショートして、発火の原因になります。
- ◎ **接続がゆるかったり、DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。**
ショートして、発火の原因になります。
- ◎ **長時間使用しないときは、安全のため本製品から電源を取りはずしてください。**
発熱、火災の原因になります。
- ◎ **雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルには、絶対に触れないでください。**
感電の原因になります。
- ◎ **ぬれた手でDC電源ケーブル(付属品)、または本製品に触れないでください。**
感電の原因になります。
- ◎ **指定以外のヒューズを使用しないでください。**
感電、けがの原因になります。
- ◎ **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。
- ◎ **次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。**
 - 指定以外の電源や電圧を使用しないでください。
 - DC電源ケーブル(付属品)を接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
 - DC電源ケーブル(付属品)のヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
 - 本製品のDC電源ケーブルにホコリが付着した状態で使用しないでください。
 - 本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
 - 指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。
 - 線材のような金属物を入れたり、水につけたりしないでください。
 - 本製品の分解や改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。
- ◎ **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△注意

- ◎ 針金などの細い棒などで、マイクコネクタに触れないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ **本製品のマイクコネクタ部分に金属片やゴミを付着させないでください。**
ショートして、発火の原因になることがあります。
- ◎ **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に設置しないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎ **指定以外の別売品を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

- ◎ **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ **長時間使用すると、無線機本体の温度が高くなりますので、無線機に触れないでください。**また、周囲の人が無線機に触れないようにご注意ください。
やけどすることがあります。
- ◎ **－10℃～＋50℃以外の環境では使用しないでください。**
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。
- ◎ **電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。**
ラジオやテレビなどに電波障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- ◎ **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ **本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。ただし、ケーブルなどのプラグ(先端)部分は、絶対に水を含ませた布でふかないでください。

■ ACアダプター/電源変換ケーブル(別売品)

△警告

- ◎ **本製品以外の機器で使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **AC100V～240V以外の電源電圧で使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **ACアダプターの金属部分や、その周辺にホコリが付着している場合は、乾いた布でよくふき取ってください。**
そのまま使用すると、火災の原因になります。
- ◎ **電源ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。**
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。**
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **ぬれた手でACアダプターや機器に絶対に触れないでください。**
感電の原因になります。
- ◎ **風通しの悪い場所で使用したり、タコ足配線やACアダプターどうしを密着させたりして使用しないでください。**
発熱、火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **水などでぬれやすい場所で使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **コンセントの奥まで確実に差し込んでください。**
差し込みが不十分な場合、火災、感電の原因になります。
- ◎ **抜き差しするときは、必ずコネクタ部分やACアダプター本体を持ってください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ **コンセントの差し込みがゆるかったり、電源ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。**
火災、感電、故障、データの消失、破損の原因になりますので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

電波法上のご注意

- ◎ 本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎ 本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていますので、弊社別売品のアンテナ(MG-450-1A-C2)を直接本製品に接続してご使用の場合は、無線局の免許は必要ありません。
なお、アンテナを加工して使用したり、弊社指定以外のアンテナを使用したりすると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
- ◎ 他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器

- | | | |
|-----------------|-----------|-------|
| ◎ LED照明器具 | ◎ 電磁調理器 | ◎ 給湯器 |
| ◎ 自動車に搭載された電子機器 | ◎ 太陽光発電装置 | |

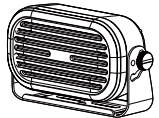
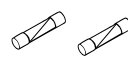
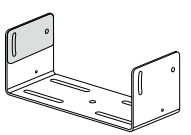
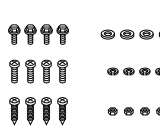
防塵/防水性能について

- マイクロホン(別売品)、またはマイクコネクタークヤップ(付属品)を無線機本体に接続・装着することで、IP54の防塵/防水性能があります。
次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。
- ◎ 雨の中や水滴が付着、またはぬれた手で、マイクロホンや外部スピーカーを付けたり、はずしたりしたとき
 - ◎ マイクロホンまたはマイクコネクタークヤップを接続・装着していない、もしくは正しく接続・装着されていないとき
 - ◎ 落としたりして、強い衝撃が加わったとき
 - ◎ 本製品を分解、または改造したとき
 - ◎ 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
 - ◎ 水や海水につけたとき
 - ◎ －10℃～＋50℃以外の環境で使用したとき

IP表記について
機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。
IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。
また、保護等級を規定しない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】
IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として動作すること
IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

付属品

		
外部スピーカー	DC電源ケーブル (約3m)	ヒューズ (125V/5A)
		
車載ブラケット	取り付けネジ一式 (車載ブラケット用)	マイクコネクタークヤップ★

☐ ご使用になる前に(本書)
☐ 接続ガイド
☐ 保証書

★マイクロホンを接続していないときは、マイクコネクタに装着してください。

別売品について

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。
※別売品について詳しくは、弊社ホームページ https://www.icom.co.jp/ をご覧ください。

表記について

本書では、IC-MS5880を親機、IC-5880を子機と表記します。

従来製品との相互使用について

本製品は、下記の弊社製無線機と互換性があります。(2023年11月現在)
◎ IC-MS4880 (親機)
◎ IC-4880 (子機)

取り扱い上のご注意

- 直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。移動局として車内に無線機を設置する場合、炎天下では、車内の温度が極端に上昇し、本製品に悪影響を与えます。また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。
- 車載運用では、バッテリー保護のためにも、1日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。
- 磁気カードを無線機に近づけないでください。磁気カードの内容が消去されることがあります。
- パソコンやその他の周辺機器の取り扱い、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。

本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動車運転時のご注意

- 安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視したりしないでください。
- 無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- 安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。

本製品の概要

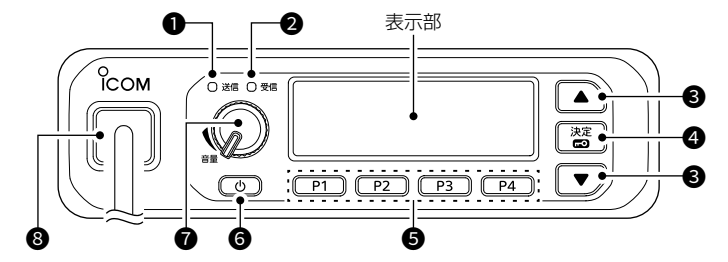
- 本製品は、作業連絡用無線設備の親機です。弊社製子機と併せてご使用いただくことで、電話のような同時通話(複信方式)ができます。
- 本製品は、1つの送信ユニットと4つの受信ユニットで構成されており、本製品(1台)と子機(最大4台)間通話の最大5台で同時通話ができます。

車両に取り付けるときのご注意

- 自動車に取り付けるとき、前方の視界や運転操作を妨げる場所など、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。また、フロント、および運転席、助手席のサイドガラスに絶対に取り付けしないでください。交通事故やけがの原因になります。
- エアバッグシステム装備車に取り付けるとき、このシステムの動作に影響をおよぼす取り付けかたはしないでください。
- 安全運転に支障がないように(ケーブルなどが絡まらないように)配線してください。
- 自動車の板金部に沿ってDC電源ケーブルを通す場合、保護用テープを巻くことをおすすめします。DC電源ケーブルと板金部がこすると、外被が破れ、ショートの原因となることがあります。
- 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所への設置はできるだけ避けてください。故障や変形の原因となることがあります。やむをえず、直射日光の当たる場所に取り付けた場合、運用しないときは、本製品、および別売品を取りはずして保管してください。
- 取り付け場所の素材や表面加工によっては、はすれやすかったり、表面を傷めたりする原因となることがあります。
- アンテナの取り付けや各種配線については、車両ディーラーや本製品をお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品を自動車に取り付けたあと、本製品の電源を入れた状態で、自動車のブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。
- 自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼさないようにするため、無線機、アンテナなどは、次のような電波障害留意機器より20cm以上はなして取り付けてください。
 - エンジン関係：燃料噴射装置/エンジンコントロールユニット(ガソリン車)、グローコントロールユニット(ディーゼル車)
 - トランスミッション関係：電子制御式変速機/4WDコントロールユニット
 - その他：ECS/EPS/ABS/ETACS/フルオートエアコン/オートヒーターコントロールユニット/Gセンサーなど
- 本製品を操作中、自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼしていることがわかった時点で、本製品の電源を切り、DC電源ケーブルを本製品から抜いてください。

各部の名称と機能

■ 前面部



- ① [送信]ランプ
送信状態のとき、赤色に点灯します。
- ② [受信]ランプ
受信ユニットが1つでも受信状態のとき、またはスケルチが開いているとき、緑色に点灯します。
- ③ [▲]/[▼]
メモリーチャンネルの選択や各種設定項目、設定内容の選択をします。
- ④ [決定/OK]
短く押すと、選択した設定項目や設定内容を確定します。長く押すと、キーロック機能の動作を切り替えます。
- ⑤ プログラマブルキー
[P1]～[P4]に割り当てられた機能が動作します。
- ⑥ [O]
無線機の電源を「入」/「切」します。
- ⑦ 音量ツマミ
無線機に接続されたスピーカーから出力される音量を調整します。
- ⑧ マイクコネクタ
マイクロホン(別売品)を接続します。
※マイクロホンを接続するときは、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
※誤動作の原因になりますので、無線機の電源を入れたままマイクロホンを取り付けたり、取りはずしたりしないでください。

キーロック機能について
[決定/OK]を長く押すと、「ビビッ」と鳴って「」が表示され、キーロック機能が動作します。ただし、下記はキーロック機能の対象外です。

- [O]
- 接続したマイクロホンの[PTT]
- 音量ツマミ
- [決定/OK] (キーロック解除)★
- [▲]/[▼] (回線補償器用電源の復帰動作)

★キーロック機能を解除するには、もう一度[決定/OK]を長く押します。

■ 表示部

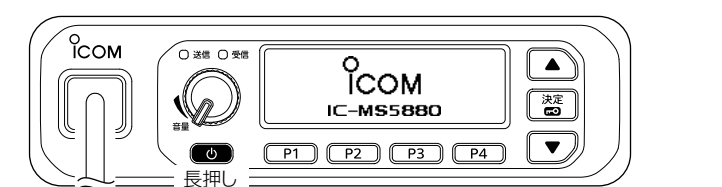


- ① 秘話表示
秘話機能を使用中表示されます。
- ② オートチャンネル表示
オートチャンネル機能を使用中表示されます。
- ③ インターリーブ表示
インターリーブ周波数を使用中表示されます。
- ④ モニター表示
モニター機能を使用中表示されます。
- ⑤ 常時送信表示
送信動作が「常時送信」に設定されているときに表示されます。
※「PTT+受信時送信」に設定されているときは、「PTT」が表示されます。
- ⑥ VariableATT表示
VariableATT機能(アッテネーター)を使用中に、設定した減衰量(例:20dB)が表示されます。
- ⑦ 拡張接続表示
有線拡張機能が有効になっているときに表示されます。
- ⑧ 回線補償器給電表示
回線補償器(別売品:AG-5880)への給電機能を使用中表示されます。
- ⑨ キーロック表示
キーロック機能が有効になっているときに表示されます。
- ⑩ メモリーチャンネル表示
運用中のメモリーモードとメモリーチャンネル名が表示されます。
- ⑪ 未受信表示
受信ユニットが子機からの信号を受信していないときに表示されます。
- ⑫ 受信中表示
受信ユニットが子機からの信号を受信中に表示されます。
※トーン周波数が一致しない信号を受信中は、受信ユニット番号と受信中表示が点滅します。
- ⑬ 受信OFF表示
受信ユニットがOFFに設定されているときに表示されます。
- ⑭ ミュート表示
受信ユニットがミュート(消音)されているときに表示されます。
- ⑮ プログラマブルキー機能表示
[P1]～[P4]に割り当てられた機能が表示されます。

基本的な操作方法

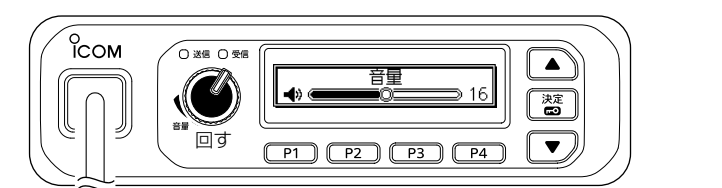
1. 電源を入れる

- ※接続したマイクロホンの[PTT]が「OFF」になっていることを確認してください。
[O]を長く押すと、「ビー」と鳴り、電源が入ります。
- ※電源を切るときは、もう一度長く押します。
- ・送信動作が「常時送信」に設定されている場合は、音声信号を含んでいない電波(無変調)が常に応答された状態になります。



2. 音量を調整する

- 音量ツマミを回して、接続したスピーカーから出力される音量を調整します。

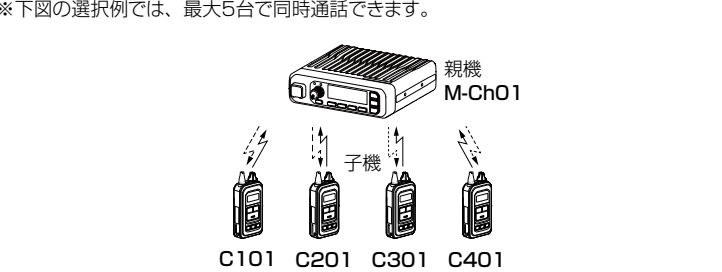


3. メモリーチャンネルを選択する

- [▲]/[▼]を繰り返し押して、あらかじめ登録されたメモリーチャンネル(例:M-Ch01～M-Ch10)から選択します。



- ※下図の選択例では、最大5台で同時通話できます。



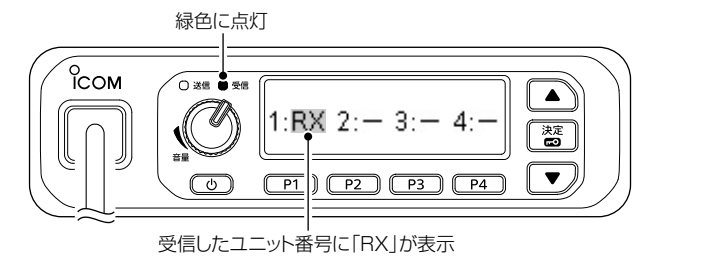
4. 呼び出しをする

- 接続したマイクロホンの[PTT]を押し、マイクに向かって、子機に呼びかけます。
※「ビビッ」と鳴って[送信]ランプが赤色に点灯し、音声信号が送信されます。
子機が応答すると、電話と同様に同時通話できます。



5. 呼び出しを受ける

- 「ビッ」と鳴って[受信]ランプが緑色に点灯し、接続したスピーカーから相手の声が聴こえてきたときは、マイクロホンの[PTT]を押し、マイクに向かって応答します。
※「ビビッ」と鳴って[送信]ランプが赤色に点灯し、電話と同様に同時通話できます。



メモリーチャンネル表示一覧表

チャンネルメモリーモード(初期設定)で使用する場合、親機(本製品)と子機に設定されているメモリーチャンネル表示の対比一覧表です。
※1台の親機(例:M-Ch01)と4台の子機(例:C101、C201、C301、C401)が同時通話できます。

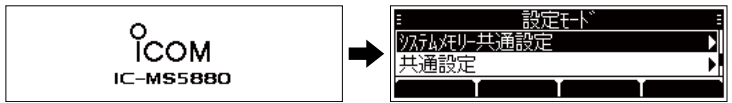
親機(本製品)	子機	親機(本製品)	子機
M-Ch01	C101	M-Ch06	C106
	C201		C206
	C301		C306
	C401		C406
M-Ch02	C102	M-Ch07	C107
	C202		C207
	C302		C307
	C402		C407
M-Ch03	C103	M-Ch08	C108
	C203		C208
	C303		C308
	C403		C408
M-Ch04	C104	M-Ch09	C109
	C204		C209
	C304		C309
	C404		C409
M-Ch05	C105	M-Ch10	C110
	C205		C210
	C305		C310
	C405		C410

※設定内容やメモリーチャンネル表示をお買い上げの販売店でご変更して、お渡ししている場合は、上記の表と異なります。
そのときは、設定内容をお買い上げの販売店におたずねください。

設定モードによる機能設定

設定モードに移行するには

1. 本製品の電源を切ります。
2. [▲]/[▼]を押しながら、電源を入れます。
 - ・オープニング画面を表示(約1秒)後、「設定モード」画面が表示されます。
 - ※「設定モード」画面が表示されなかったときは、手順1から操作をやりなおしてください。



設定モードに移行後、設定内容を変更するには

1. [▲]/[▼]を押して、変更したい設定項目を選択します。
 - ※先頭の項目で[▲]を押した場合は、最後の項目へ、最後の項目[▼]を押した場合は、先頭の項目へ移動します。
2. [▲]/[▼]を押して、設定内容を変更します。
3. [決定/OK]を押して、変更内容を確認します。
 - ※変更を確認せずに無線機の電源を切ると、変更内容は反映されません。
4. 無線機の電源を切ると、通常モードで再起動し、変更内容が反映されます。

設定モードで変更できる設定項目	
※お買い上げの販売店での設定によって、表示される設定項目は異なります。 詳細については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。	
【システムメモリー共通設定】	
○ グループ構成番号	○ ローバッテリー警告ビープ
○ インターリーブ	○ 通話通知ビープ
○ 送信CTCSS設定	○ 各プログラマブルキーの機能割り当て
○ 各受信ユニットのCTCSS設定	○ オートチャンネル
	○ バックライトの明るさ
	○ バックライトカラー
	○ LCDコントラスト(濃淡)
	○ オートロック
	○ ビープ音量
	○ ビープ音量固定時レベル
	○ 回線補償器用電源
	○ 電源短絡時自動復帰
	○ 自動復帰時間
	○ 自動復帰回数